

やすらぎ短信

平成30年
4月号

四月 入学式・入社式

降り積った雪も解

け、いよいよ四月と

なりました。この春

に入学式や入社式を

迎える方々は新生活

を控え、希望に胸を

膨らませていること

でしょう。人生には



成熟していく過程の中で、いくつもの節

目があります。その節目には、大切な人

との別れがあったり、素敵な出会いがあ

ったり、心が大きく揺れ動く時期でもあ

ります。神様から頂いた人と人とのご縁

によって生かされている自分であるこ

とを改めて実感させられるのもこの四

月です。自分の歩んできた道をしっかり

と振り返り、自信をもって春の一步を踏

み出したいものです。

浦幌神社氏子会

定期総会を開催

去る三月十五日に浦幌神社定期総会

が開催され、付議された案件が原案どお

り可決されました。本年度の当番区は、

北栄一区・北栄二区・東山町の三町内で

す。八月二十五日・二十六日に齋行され

る「夏季みこし祭」のお手伝いをお願い

致します。今年も皆様のご協力をお願い

申し上げます。

春の社日祭を齋行

去る三月二十七日午後一時より、春の

社日祭を齋行致しました。社日祭は、土

地の神様に五穀豊穰と農事安全を祈願

するお祭りです。今年は大雪と大雨で農

作業の開始遅れが心配

されておりましたが、

雪も解け、順調に作付

けの準備も進んでいる

ようです。稔りの秋を

迎えられますようご祈

念申し上げます。



バイク交通安全

「祈願名刺奉納所」

新築工事地鎮祭を齋行

去る三月三十一日、バイクの交通安全

を祈願する「祈願名刺奉納所」の新築工

事地鎮祭が齋行されました。同奉納所は、

平成二十八年にライダーの参拝者が安

全運転への想いを名刺に書いて奉納し、

交通安全を祈願する場所として建立さ

れました。昨年は、全国各地から千人以

上のライダーが参拝され、年々、奉納さ

れる名刺が増えていることから、この度、

より多くのライダーが祈願できるよう

に、新たな奉納所を建立する運びとなり

ました。完成ま

で大変ご迷惑を

おかけ致します

が、名刺を奉納

される方は、四

月中旬の完成ま

で、授与所で受

付致します。



宮司の一筆

「福寿草」の開花を見て



四月を迎え、入学式や入社式、会社の年度始めなど、節目を迎える時期となった。浦幌神社の境内にも草花が少しずつ顔を出し始めた。陽気に誘われ、境内を散歩していると福寿草の花が一、二輪咲いているのを見つけた。ここ数日、暖かい日が続いたこともあり、例年より早い開花である。福寿草の花言葉には、「祝福」「幸せを招く」「永久の幸福」「希望」「極限の愛」などがあり、とても縁起の良い花である。人目のつかない場所で、そっと咲いている福寿草を見つけた時、ふと幕末の国学者で歌人でもある橘曙覧(たちばな あけみ)の歌を思い出した。

たのしみは 朝おきいでて 昨日まで
無かりし花の 咲ける見る時

花は開花の準備を怠らず、自然の法則に従って、ありのままに咲く。北海道の厳しい冬の寒さを乗り越え、凜と咲く福寿草を見て「幸せ」な気分になった。

乳神神社のお話 その二

▼乳神様の信仰の広まりについて

浦幌町瀬多来の山中で見つかったおっぱいの形をしたコブをもつナラの大木は、乳授大神(ちちさずけおおかみ)

乳授大明神(ちちさずけだいみょうじん)などと呼ばれ、母乳授けや病氣平癒の神様として信仰され、遠くは九州まで広まったという伝承もあります。当時、地元で炭焼きを営んでいた職人が、本州へ出稼ぎにいき、乳神様のお話が広まったようです。当時、願主の願いが叶いますと、そのお礼参りに幟を立てるといふ信仰が広まったそうです。地元の方のお話によりますと、乳神様のナラの大木のまわりには、たくさんの方の吹流しの幟が立てられ、とても賑やかだったそうです。写真は、浦幌神社に現存する乳神神社の幟です。そのなごりで、乳神神社の春秋の例祭には、神社前に八本(末広がり)の幟を掲げます。



浦幌神社の鯉のぼり

浦幌神社では、端午の節句にあわせて、境内に鯉のぼりを上げます。お子様、お孫様と一緒に空高く、勇壮に泳ぐ大きな鯉のぼりをどうぞ見に来て下さい。

期間 四月二十八日～五月五日まで



浦幌神社行事予定

四月一日 月次祭
四月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八